



タイトル「**2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**実務経験のある教員による科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS3605		
科目名	スポーツキャンプ実習Ⅴ		
担当教員	近藤 克之		
対象学年	4年	開講学期	前期
曜日・時限	火 2		
講義室	オンライン	単位区分	選
授業形態	実習	単位数	1
科目大分類	専門		
科目中分類	専門応用		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード 学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関係 DP2-A 〔日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢〕 地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。 DP4-F 〔探究力・課題解決力〕 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4-I 〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■CRコード 学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（CR）との関連 A2 異文化適応（10％） F1 探究と論拠（10％） F2 課題解決（10％） I2 量的分析（35％） I3 情報分析（35％）		
教員の実務経験	2010年から日本パラ陸上競技連盟強化委員として、パラリンピック選手を対象としたトレーニングキャンプを計画立案し、海外や国内で実施してきました。目標とする競技大会で最高のパフォーマンスを発揮するために、トレーニングキャンプを行う目的を明確にし、トレーニングキャンプを行う経費や環境面の考慮、人的配置などを含め、効果を高めるために取り組んできた経験を活かし、多様なスポーツにおけるスポーツキャンプを運用するために求められる要素を学修できるように本科目を展開していきます。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット：能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	スポーツキャンプ実習Ⅰ～Ⅳでの分析結果を踏まえ、スポーツキャンプ活動を実施し、それらの反省的分析を行います。これらの活動内容は、本学部所定のスポーツキャンプ実習報告書に記載し、授業時間内での分析方法及び分析結果に関する反省的議論を通じて、アスリートを様々な側面で支えるサポート者としての応用的能力を養います。さらに、これまでの結果を踏まえ、一般スポーツを含む多くのスポーツ活動・支援に活用できるような提案を行うことを目的としています。授業は実習により行います。 ■キーワード スポーツキャンプ、トレーニング学、コーチング学、マネジメント なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（オンデマンド型・ライブ配信型）を取り入れます。		
授業の趣旨	■副題 スポーツキャンプ実施計画書を立案し、スポーツキャンプ活動を実施及び調査して、スポー		

	ツキャンブ実習報告書を作成して学び、その実習報告書から活動発表をすることで、スポーツキャンブを反省的に分析し、よりよい方法等について改善を図り、その方法について探究しましょう。 ■授業の目的 本授業の目的は、学生自身が計画しマネジメントする合宿等のスポーツキャンブ活動において、そのプランニング（安全管理等を含む）に関わる問題点について反省的分析を加えることによって、スポーツキャンブ運営に関するコーチとしてのマネジメント能力を培うことです。また、一般スポーツを含む多くのスポーツキャンブ内容における課題や問題点について、議論することができることを目的とします。 ■授業のポイント スポーツキャンブ実施計画書内容について議論し、実施する際の課題について反省（省察）的分析を行い、実際に実習することでスポーツキャンブ実習報告書を完成させ、活動報告発表をします。学生同士が共有、検討し、アスリートを様々な側面で支えるサポート者としての応用的能力等を整理し、マネジメント的観点から検討することになります。	
総合到達目標	■スポーツキャンブ実習Ⅰ～Ⅳで学修した内容を基に、スポーツキャンブのマネジメントに求められる能力や、スポーツキャンブ活動・支援と他者（チーム全体なども含む）の競技力向上やコーチングに適用する能力を修得する。 ・スポーツキャンブ活動に必要な要素を説明できる。（第1回、第8回、第14回、15回） ・スポーツキャンブ活動を実施研究することで、スポーツキャンブのサポートや提案を説明できる。（第4回～第7回、第10回～第13回） ・スポーツキャンブ活動の様々な問題点を分析し、自分の考えを含めた問題解決について説明できる。（第2回、第3回、第9回）	
成績評価方法	■スポーツキャンブ実習計画書 計2回（30％）：適用ルーブリック：F1・F2・I2・I3 （評価の観点）自身の対象とした種目におけるキャンブ実習計画書の作成内容の評価を行います。 （フィードバックの方法）計画書内容確認後、典型例を示しながら評価の観点について解説します。 ■スポーツキャンブ実習報告書 計2回（30％）：適用ルーブリック：F1・F2・I2・I3 （評価の観点）自身の計画したキャンブに関する実習報告書の作成内容の評価を行います。 （フィードバックの方法）報告書内容確認後、典型例を示しながら評価の観点について解説します。 ■活動報告発表 計2回（40％）：適用ルーブリック：A2・F1・F2・I2・I3 （評価の観点）取り組んだキャンブに対し議論を通して整理された内容を発表し、その発表について評価を行います。 （フィードバックの方法）各発表後に講評を行います。	
履修条件	「スポーツキャンブ実習Ⅰ SSCS 2307」（2年次前期配当）、「スポーツキャンブ実習Ⅱ SSCS 2308」（2年次後期配当）、「スポーツキャンブ実習Ⅲ SSCS 3301」（3年次前期配当）、「スポーツキャンブ実習Ⅳ SSCS 3302」（3年次後期配当）を履修している。	
履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ スポーツキャンブとは何か（全体テーマおよび進め方の説明） ②授業概要 スポーツキャンブ実習Ⅰ～Ⅳを踏まえ、授業の進め方と評価および学習を行うにあたって留意すべき点などについて概説し、受講生が授業の準備を具体的に行えるようにする。その中で、スポーツキャンブとは何なのか、その現況をみながらトレーニング学的かつコーチング学的観点から説明できる（A2・F1）。 ③予習（60分） スポーツキャンブ実習Ⅰ～Ⅳで整理した実習報告書を調べ確認する。 ④復習（60分） トレーニング日誌に記載している内容を振り返り、自身で説明できるようにしておく。
	2	①授業テーマ スポーツキャンブの計画立案① ②授業概要 自身のスポーツキャンブを行うにあたり、プランニングを行う。そのために求められる、環境や条件、マクロ的トレーニング計画の中での位置付け、トレーニング量や強度・頻度、その種類といった基礎的要素を踏まえ自身の現状を整理する。トレーニング学的かつコーチング学的観点から説明できる（F1・I2・I3）。

	シラバス参照 担当教員の実務経験を踏まえて、スポーツキャンプの計画立案等について講義します。 ③予習（60分） トレーニング日誌に記載している内容で、今後の課題点を調べ確認する。 ④復習（60分） 講義ノート振り返りながら、スポーツキャンプ実習計画書の作成準備を行い、自身で説明できるようにしておく。 ①授業テーマ スポーツキャンプの計画立案② ②授業概要 3 前回の授業内で整理した内容を踏まえ、スポーツキャンプ実習計画書を作成する。その際、可能な限り具体的かつ実施可能な内容となるように作成する。作成したスポーツキャンプ実習計画書を提出する。トレーニング学的かつコーチング学的観点から説明できる（F1・I2・I3）。スポーツキャンプ実習計画書の模範解答の説明を含め、スポーツキャンプ実習について復習を行ないます。 ③予習（60分） 講義ノート振り返りながら、スポーツキャンプ実習計画書を調べ確認する。 ④復習（60分） スポーツキャンプ実習計画書に基づき、スポーツキャンプを実施し、自身で説明できるようにしておく。 ①授業テーマ スポーツキャンプ実習① ②授業概要 4 スポーツキャンプ実習計画書に基づき、スポーツキャンプを実施する。トレーニング学的かつコーチング学的観点から説明できる（I2・I3）。 ③予習（60分） スポーツキャンプ実習計画書を見返し実施の準備を行う。 ④復習（60分） スポーツキャンプ実習報告書に実習内容等の記入を行い、整理する。 ①授業テーマ スポーツキャンプ実習② ②授業概要 5 スポーツキャンプ実習計画書に基づき、スポーツキャンプを実施する。トレーニング学的かつコーチング学的観点から説明できる（I2・I3）。 ③予習（60分） スポーツキャンプ実習計画書を見返し実施の準備を調べ確認する。 ④復習（60分） スポーツキャンプ実習報告書に実習内容等の記入を行い、自身で説明できるようにしておく。 ①授業テーマ スポーツキャンプ実習③ ②授業概要 6 スポーツキャンプ実習計画書に基づき、スポーツキャンプを実施する。トレーニング学的かつコーチング学的観点から説明できる（I2・I3）。 ③予習（60分） スポーツキャンプ実習計画書を見返し実施の準備を調べ確認する。 ④復習（60分） スポーツキャンプ実習報告書に実習内容等の記入を行い、自身で説明できるようにしておく。 ①授業テーマ スポーツキャンプ実習④ ②授業概要 7 スポーツキャンプ実習計画書に基づき、スポーツキャンプを実施する。トレーニング学的かつコーチング学的観点から説明できる（I2・I3）。 ③予習（60分） スポーツキャンプ実習計画書を見返し実施の準備を調べ確認する。 ④復習（60分） スポーツキャンプ実習報告書に実習内容等の記入を行い、自身で説明できるようにしておく。 ①授業テーマ スポーツキャンプ実習報告 ②授業概要 8
--	---

	自身のスポーツキャンプ実習報告書に基づき、スポーツキャンプを実施してきた内容を発表する。その際、写真や動画等の視聴覚ツールを用い、具体的な発表となるように注意する。トレーニング学的かつコーチング学的観点から説明できる（A 2・F 2）。スポーツキャンプ実習報告書、プレゼンテーション資料は提出する。スポーツキャンプ実習報告書の模範解答の説明を含め、スポーツキャンプ実習報告について復習を行ないます。 ③予習（60分） スポーツキャンプ実習報告書に実習内容等の記入を行い、これまでの活動を整理し、発表準備を調べ確認する。 ④復習（60分） スポーツ実習報告書を基に次のスポーツキャンプ実習に向けたスポーツキャンプ実習計画の立案と準備を行い、自身で説明できるようにしておく。
9	①授業テーマ スポーツキャンプの計画立案 ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、前回行ったスポーツキャンプ実習報告書も見返しながら（反省的分析を行い）、講義します。次回のスポーツキャンプに向けて、可能な限り具体的かつ実施可能な内容となるようにスポーツキャンプ実習計画書を作成する。作成したスポーツキャンプ実習計画書を提出する。トレーニング学的・コーチング学・マネジメント的観点から説明できる（F 1・I 2・I 3）。 ③予習（60分） これまで行ったきた実習を振り返りながら、スポーツキャンプ実習報告書をまとめるとともに、スポーツキャンプ実習計画書の作成準備を調べ確認する。 ④復習（60分） スポーツキャンプ実習計画書に基づき、スポーツキャンプを実施し、自身で説明できるようにしておく。
10	①授業テーマ スポーツキャンプ実習⑤ ②授業概要 スポーツキャンプ実習計画書に基づき、スポーツキャンプを実施する。トレーニング学的かつコーチング学的観点から説明できる（I 2・I 3）。 ③予習（60分） スポーツキャンプ実習計画書を見返し実施の準備を調べ確認する。 ④復習（60分） スポーツキャンプ実習報告書に実習内容等の記入を行い、自身で説明できるようにしておく。
11	①授業テーマ スポーツキャンプ実習⑥ ②授業概要 スポーツキャンプ実習計画書に基づき、スポーツキャンプを実施する。トレーニング学的かつコーチング学的観点から説明できる（I 2・I 3）。 ③予習（60分） スポーツキャンプ実習計画書を見返し実施の準備を調べ確認する。 ④復習（60分） スポーツキャンプ実習報告書に実習内容等の記入を行い、自身で説明できるようにしておく。
12	①授業テーマ スポーツキャンプ実習⑦ ②授業概要 スポーツキャンプ実習計画書に基づき、スポーツキャンプを実施する。トレーニング学的かつコーチング学的観点から説明できる（I 2・I 3）。 ③予習（60分） スポーツキャンプ実習計画書を見返し実施の準備を調べ確認する。 ④復習（60分） スポーツキャンプ実習報告書に実習内容等の記入を行い、自身で説明できるようにしておく。
13	①授業テーマ スポーツキャンプ実習⑧ ②授業概要 スポーツキャンプ実習計画書に基づき、スポーツキャンプを実施する。トレーニング学的かつコーチング学的観点から説明できる（I 2・I 3）。 ③予習（60分）

	スポーツキャンプ実習計画書を見返し実施の準備を調べ確認する。 ④復習（60分） スポーツキャンプ実習報告書に実習内容等の記入を行い、自身で説明できるようにしておく。
14	①授業テーマ スポーツキャンプ実習報告 ②授業概要 自身のスポーツキャンプ実習報告書に基づき、スポーツキャンプを実施してきた内容を発表する。その際、写真や動画等の視聴覚ツールを用い、具体的な発表となるように注意する。トレーニング学的かつコーチング学的観点から説明できる（A2・F2）。スポーツキャンプ実習報告書、プレゼンテーション資料は提出する。スポーツキャンプ実習報告書の模範解答の説明を含め、スポーツキャンプ実習報告について復習を行ないます。 ③予習（60分） スポーツキャンプ実習報告書に実習内容等の記入を行い、これまでの活動を整理し、発表準備を調べ確認する。 ④復習（60分） 自身のスポーツ実習報告書を基に他者の実習報告書と照らし合わせ検討できる準備を行い、自身で説明できるようにしておく。
15	①授業テーマ スポーツキャンプ実習Ⅴのまとめと今後への課題整理 ②授業概要 これまでの実習を通して提出した実習計画書と実習報告書を振り返り、他者のスポーツキャンプ実習内容にも考えを及ぼすことができるように、反省的分析的なグループワークを行う。その結果を踏まえ、コーチなどのサポート従事者として求められるマネジメント力とは具体的に何なのか説明できるようになる（A2・F1・F2・I2・I3）。 ③予習（60分） 自身のスポーツ実習報告書を基に他者の実習報告書と照らし合わせ、検討する内容を調べ確認する。 ④復習（60分） まとめの内容を振り返り、自身のスポーツ実習報告書について整理し、自身で説明できるようにしておく。
関連科目	「スポーツキャンプ実習Ⅰ SSCS 2307」（2年次前期配当）、「スポーツキャンプ実習Ⅱ SSCS 2308」（2年次後期配当）、「スポーツキャンプ実習Ⅲ SSCS 3301」（3年次前期配当）、「スポーツキャンプ実習Ⅳ SSCS 3302」（3年次後期配当）は、スポーツキャンプ活動を扱うものとして、本講と密接に関係します。
教科書	指定しません。
参考書・参考URL	授業時に案内します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 金曜日2時限（研究室）。それ以外の時間については、メール等で事前にアポイントをとることにより研究室で対応します。
研究比率	

